

# 「N-Torus」導入・稼働状況

[導入拠点一覧]

2020年7月8日受付分まで

	本稼働	法人名	拠点名	所在地
1	2019年3月	伊藤忠食品	船橋物流センター	千葉県船橋市
2	3月	三菱食品	横須賀FLDC	神奈川県横須賀市
3	5月	伊藤忠食品	三郷物流センター	埼玉県三郷市
4	5月	三菱食品	甲府SDC	山梨県笛吹市
5	6月	加藤産業	高谷センター	千葉県市川市
6	6月	西友	三郷センター	埼玉県三郷市
7	6月	三井食品	八千代IDC	千葉県八千代市
8	8月	伊藤忠食品	相模原IDC	神奈川県相模原市中央区
9	8月	東洋水産	関西工場	兵庫県神戸市西区
10	8月	トーカン	大府ドライセンター	愛知県大府市
11	9月	味の素	三重工場第二製造部	三重県四日市市
12	9月	ヤマエ久野	佐賀支店北九州共配課	福岡県北九州市小倉北区
13	10月	日本アクセス	名古屋常温センター	愛知県小牧市
14	10月	三井食品	SEJ常温昭島センター	東京都昭島市
15	10月	三井食品	名古屋南物流センター	愛知県名古屋市緑区
16	11月	加藤産業	埼玉羽生センター	埼玉県羽生市
17	11月	加藤産業	野田センター	千葉県野田市
18	11月	国分グループ 本社	船橋流通センター	千葉県船橋市
19	11月	日本酒類販売	羽生流通センター	埼玉県羽生市
20	11月	三井食品	SEJ常温朝霞センター	埼玉県朝霞市
21	11月	三井食品	首都圏西物流センター	神奈川県相模原市緑区
22	12月	三井食品	川崎浮島物流センター	神奈川県川崎市川崎区
23	2020年1月	日本アクセス	京都八幡統合センター	京都府八幡市
24	2月	味の素	川崎工場	神奈川県川崎市川崎区
25	2月	伊藤忠食品	東扇島物流センター	神奈川県川崎市川崎区
26	2月	日本アクセス	福岡常温センター	福岡県糟屋郡
27	2月	ハウス食品	福岡工場	福岡県古賀市
28	2月	三井食品	SEJ常温北上センター	岩手県北上市
29	2月	三井食品	SEJ常温広島センター	広島県広島市
30	3月	加藤産業	仙台富谷センター	宮城県富谷市
31	3月	加藤産業	座間センター	神奈川県座間市
32	3月	加藤産業	厚木センター	神奈川県厚木市
33	3月	加藤産業	輪厚流通センター	北海道北広島市
34	3月	加藤産業	南港流通センター	大阪府大阪市住之江区
35	3月	加藤産業	大阪平林センター	大阪府大阪市住之江区
36	3月	日本アクセス	千葉中央常温センター	千葉県千葉市若葉区
37	3月	三井食品	北部九州センター	福岡県古賀市
38	4月	昭和	昭和冷蔵(株)岡崎センター	愛知県岡崎市
39	5月	加藤産業	SOSiLA海老名1.2階	神奈川県海老名市
40	5月	国分首都圏	西浦流通センター	千葉県船橋市

41	5月	国分首都圏	神奈川流通センター	神奈川県厚木市
42	6月	国分首都圏	千葉流通センター	千葉県八千代市
43	6月	国分首都圏	ロ-ソストア100西関東DDC	神奈川県相模原市中央区
44	6月	国分首都圏	IKD八千代町ドライセンター	千葉県八千代市
45	6月	トーカン	静岡吉田常温センター	静岡県榛原郡
46	6月	三井食品	高槻センター	大阪府高槻市
47	7月	伊藤忠食品	関西物流センター	京都府京田辺市
48	7月	日本アクセス	草加A T P Lセンター	埼玉県草加市
49	7月	三井食品	吹田センター	大阪府吹田市
50	7月	伊藤忠食品	福岡物流センター	福岡県福岡市東区
51	8月	国分首都圏	藤沢流通センター	神奈川県藤沢市
52	8月	三井食品	常葉センター	千葉県柏市
53	8月	三井食品	東京センター	東京都江東区
54	8月	三井食品	鳴尾浜センター	兵庫県西宮市

[企業別 導入拠点数]

拠点数	法人名
14	三井食品
10	加藤産業
7	国分グループ
6	伊藤忠食品
5	日本アクセス
2	味の素
2	トーカン
2	三菱食品
1	昭和
1	西友
1	東洋水産
1	日本酒類販売
1	ハウス食品
1	ヤマエ久野
54	合計

[都道府県別 導入拠点数]

拠点数	法人名
12	神奈川県
10	千葉県
6	埼玉県
5	福岡県
4	愛知県
4	大阪府
2	兵庫県
2	京都府
2	東京都
1	山梨県
1	三重県
1	岩手県
1	北海道
1	広島県
1	宮城県
1	静岡県
54	合計

物流現場訪問

伊藤忠食品三郷物流センター

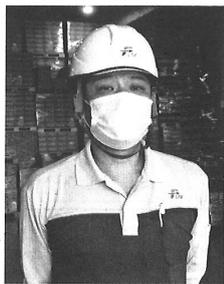
他業種に比べトラックの荷待ち時間が長いとされる加工食品業界で、改善策としてトラック入荷受付・予約システムの導入が進みつつある。

日本加工食品卸協会が音頭をとり、業界標準の新システム「N-Torus」(エヌ・トールス)の導入を進め、現在、伊藤忠食品(本店)大阪市の9社、メーカー3社、小売業1社の合計13社の物流センターなど43拠点で

利用されている。2年前から準備を開始し、昨年3月から本格的に稼働した。入構時刻を事前予約することでトラックの集中緩和、ドライバーの荷待ち時間短縮、庫内作業の平準化が可能となった。

待機時間少なく、好評

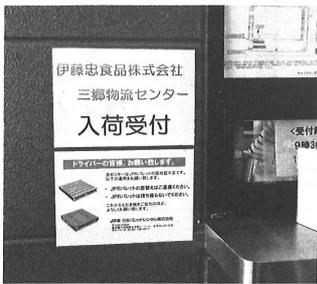
導入進む入荷受付・予約システム



運転歴26年の青木将司さん



村上弘太郎さん



入荷受付がシステム化された



ドライバーは電話番号だけで受付完了



現場のパソコンからドライバーに指示



入荷車両は1日約30台。入数は少ないながらも一定の効果が出ているという。また、従来紙だった入荷受付

待機時間に抑えられており、導人数は少ないのが現状。今後積極的に数を増やしていきたいと話している。

会社名、ドライバー名、代表する荷物のメーカー名などを記入しなければならなかったため、入荷の受付に時間がかかっていた。今は現場作業員によってリアルタイムで空

は「新システムを導入する前は、受付の早い順に入荷事務所の担当者が空いているバスを電話でドライバーに指示していた。今は現場作業員によ

ス、入荷車両台数1日約30台。昨年5月のセンター稼働と同時に新システムを導入。車両によっては100分以上の待機も発生する中、予約機能を利用している3メーカーについては15分前後の待機時間に抑えられているセンターや企業の数はまだ少ないのが現状。今後積極的に数を増やしていきたいと話している。

物流センターの現場作業員はバス前の荷捌場に置かれたパソコンで入荷受付状況を確認できる。バスを割り当てる指示をかければ、ドライバーの携帯にショートメールでバス番号が送信され、入荷作業が始まる。ロジステイクス本部ロ

たバスを割り当てられるのでスピード化が図れたと話す。

受付・バス誘導

